



2017年5月11日

各 位

会社名 サンデンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 神田 金栄
(コード番号 6444 東証第一部)
問合せ先 総務本部 広報・CSR部長 福岡 智
TEL (03) 5209-3296

中期経営計画の策定について

サンデングループは、2017年を初年度とする2020年度までの4か年の中期経営計画をスタートさせましたのでお知らせします。

1. 経営環境と経営課題の認識

当社グループにおきましては、昨今の為替の変動や市場環境の変化により体質強化が不可欠となり、昨年8月より抜本的構造改革に取り組んでまいりました。本施策の実行により着実に成果が出てきている一方で、2016年度は特別損失の計上などにより、経営環境は依然厳しい状況にあります。

こうした状況において、当社グループが今後も持続的な成長を遂げていくためには、抜本的構造改革を一層深化させることに加えて、事業競争力のさらなる強化、財務体質の改善、そしてコーポレート・ガバナンスの再構築を図ることが、重要な経営課題であると認識しております。

2. 中期経営計画の考え方

このような背景を踏まえ、当社グループは本中期経営計画を次の成長に向けて確実に再起を図ることを目的に策定いたしました。全社を挙げて抜本的構造改革を速やかに完遂するとともに、成長事業へ資源を集中的に配分し、収益力を伴う成長路線に回帰することを目指します。

3. 中期経営目標(2020年度連結ベース)

中期経営計画の経営目標は以下の通りです。

- | | |
|--------------|-----------|
| (1) 売上高 | : 3,200億円 |
| (2) 売上高経常利益率 | : 5% |
| (3) 株主資本比率 | : 25% |

4. 重点項目

本中期経営目標を達成するために、4つの柱からなる以下の重点項目に取り組みます。

- (1) 収益性向上に向けたコスト構造改革
 - 調達構造改革、生産性革新、品質改革
- (2) 財務体質強化に向けた資産効率改善
 - 投資の選択と集中、運転資本削減、ノンコア資産の流動化
- (3) 事業ポートフォリオの選択と集中
 - 環境成長領域への資源集中

(4) 経営システム革新

- コーポレート・ガバナンスの強化、グローバル経営管理の強化、意思決定システム改革

当社グループは経営方針として、「グローバル力と品質力を基礎に環境をコアにして次の成長を果たす」を掲げ、その展開と実践を進めております。これは、サンデン独自の経営品質改革活動で築きあげてきた「品質力」と、海外 23 カ国・地域、54 拠点に展開している「グローバル力」を強みとし、「環境」に対する取り組みをコアにした企業活動を通じて、更なるグローバル成長を果たすということです。

この経営方針のもと、グループビジョンである「グローバル・エクセレント・カンパニーズ」の実現を目指し、本中期経営計画を着実にやり遂げ、新たな企業価値を創造してまいります。

以上